

# SITE Thailand 設立に続け! Japan チャプター設立への期待



インセンティブ旅行業界を世界的な発展をめざす国際団体として90カ国に2,480のメンバーを擁するSITE (Society for Incentive Travel Excellence) は、1月、タイ・バンコクで「2019 SITE Global Conference」を開催した。

開催地のタイには23人のインセンティブ旅行専門家が会員として活動しているが、この「Global Conference」開催中、30番目のチャプターとしてSITE Thailandの発足が発表された。SITE Thailandでは「世界的なインセンティブ旅行先としてのタイの地位を強化し、社会とインセンティブ旅行業界双方に持続可能な未来を築き、テクノロジーやデザインなどの周辺サービスとメンター/メンティーペアリングプログラムに焦点を当てた次世代コミュニティを確立する」としている。チャプター設立には20人以上の会員が必要で、現在、クラブとして活動中の日本では、今年度中のチャプター昇格をめざしている。

さらにJNTOでは、インセンティブ業界最高の栄誉とも評される「SITE Crystal Awards」のランチョンをスポンサードし、インセンティブ・デスティネーションとしての日本の魅力を川崎MICEプロモーション部長がプレゼンテ

ーション。「SITE Crystal Awards」は、従業員のモチベーションアップに留まらず、企業の業績・収益を向上させる、創

造的かつ実用的な記憶に残るインセンティブプログラムを顕彰するもの。



## SITE Global Conferenceを日本で!

The SITE Club of Japan 代表  
SITE Master Motivator Award 受賞  
(株) イベントサービス 代表取締役社長 森本 福夫氏



1987年、私は海外のインセンティブのプロと知り合い、SITEに入会しました。学ぶことの多い組織です。

さて、入会当時、日本人会員は私一人でしたが、現在は15人へ拡大しており、会員が20人になるとClubではなくSITE Japan Chapterへ昇格します。アジアではインド・中国・タイに次ぐChapterとなります。今年のChapter In formation

の段階を経て、来年中のChapter 発足をめざし事務局が本部と折衝中です。

そして2025年以降にSITE Global Conferenceを日本に誘致できれば、世界中のインセンティブ業界にインセンティブ・デスティネーションとしての日本の魅力を浸透させることができ、その結果InboundのMeetings & Incentivesが大きく増えると確信しています。

## 姉妹Chapterとして 活動ができることを楽しみに

SITE International Board Director  
IME Consulting Co., Ltd. Managing Director  
**Alicia Yao 氏**

中国では、2005年の「SITE Global Executive Summit」を北京に誘致し、インセンティブを学び、専門家を養成するプログラムを行った結果、多数のインセンティブ関係者がSITEの会員になる必要性に目覚め会員が増大しました。



こうして2006年、BTA (Beijing Tourism Administration) のサポートのもと、SITE 役員会の承認を得てSITE China Chapterが発足しました。これを機に、60人超の中国の会員が一致協力し、世界中のSITE会員に中国をインセンティブ・デスティネーションとして売り込んだのです。

その後、SITEへ働きかけ2012年には「SITE Global Conference」の北京誘致に成功しました。Global Conferenceでの会議やパーティを通じ、世界中から集まったインセンティブ関係者が、北京・中国を最高のインセンティブ・デスティネーションとして認知してくれることになったのです。

日本からは(株)イベントサービスのLucky Morimoto、(株)DMC沖縄の徳田夫妻も出席してくれました。Lucky Morimotoは、この時SITEからSITE Master Motivator Awardを受賞しました。

日本では、今年度中にSITE Japan Chapterが発足する計画があると聞き、とても嬉しく思っています。China Chapterは、日本と姉妹Chapterとして活動ができることを楽しみにしています。日本のSITE会員の皆さんおよびインセンティブ業界の発展を祈っております。

## インセンティブをテーマにJNTO 「MICE セミナー～ADVANCE～」

日本政府観光局 MICE プロモーション部では、1月18日(金)～19日(土)、TKP品川カンファレンスセンター ANNEXにて、「MICEセミナー～ADVANCE～」を開催した。

2018年度は、「インセンティブ旅行」をテーマにSITEから講師2名を迎え、誘致や開催ノウハウを学ぶことを目的とした。初日の午前中はインセンティブ旅行を開催する意義、また、インセンティブ旅行以外のモチベーションプログラム設定の意義について講演会形式の公開セミナーを実施し78人が参加した。初日の午後から2日目の午前には、実務経験者を対象に、SITEが主催するCrystal Awardsの事例を交えながら、インセンティブ旅行を誘致・実施する際のポイントを紹介。2日間のセミナー終了後にはテストが行われ、合格者はCIS (Certified Incentive Specialist) を取得した。

**受講者の声:**

### 顧客目線でさらなるスキル向上を

(株)イベントサービス MICE 事業部課長 **ラム・フー・ウェン氏**

インセンティブ旅行誘致・実施に関わる業務体験が3年以上ある事が参加条件の「MICE セミナー～Advance～」に参加しました。終了後50問ほど選択問題の試験があり、チャレンジした結果CISの資格を無事取得できました。



CISは「インセンティブの基礎知識を取得した」とSITEが認定する資格なので、とても嬉しく思っています。私は入社5年目ですが、MICEに関わる仕事が大好きなので、これからはもっとスキルを磨き、お客様に喜んでいただけるサービスを提供できるように上級の資格をめざしたいと考えています。

## 「The Bangkok Manifesto」

ICCAの元理事であるMartin Sirk氏によるファシリテーションのもと、「Global Conference」でのSITEの国際理事会とのワークショップを経て、「The Bangkok Manifesto」が作成された。2019年5月にフランクフルトのIMEXで正式発表される「The Bangkok Manifesto」について、SITEのCEOであるDidier Scaillet氏は、「会員および業界を超えてビジネスの世界および社会に働きかけ、インセンティブ旅行が企業の業績向上に非常に効果的なツールとして社会に認知され、位置付けされることが重要」とコメントした。

### Text of the Bangkok Manifesto

1. Every stakeholder in the incentive travel community should embrace social responsibility as a core part of their business philosophy and recognize that our business practices and policies will define how that responsibility is exercised.
2. Relationships and teamwork build business results, not isolated individual effort. And nothing creates and strengthens relationships more effectively than shared incentive travel experiences.

3. Incentive travel contributes significantly to economic growth, partnerships within and between organizations, and innovative thinking by both participants and the organizations that create the programs.

4. The interests, aspirations and perspectives of incentive program participants should be placed center stage in our industry's strategic thinking and advocacy work.

5. The definition of luxury has changed. The era of logos and brands is ending. Luxury in future will be defined by authentic, unique and personal experiences.

6. Incentive travel helps to create corporate cultures that are fuelled by motivation and focused on future success.

7. Inclusivity should become a critical concept for our industry – we believe that incentive travel changes behavior and builds motivation at all levels of an organization.

8. Our industry must encourage more second and third-tier cities and non-urban destinations to embrace incentive travel as part of their business mix, highlighting that success in our business is not dependent on massive infrastructure or investment.

9. Incentive travel drives human capital excellence and innovation within destinations, with profound benefits for other targeted business segments.

10. Emerging destinations that include incentive travel in their strategic plans will experience faster economic growth and human capital development than would otherwise be the case.

# 「ものづくり」への発想力を鍛え、感覚を磨く インセンティブ旅行のプロ集団「SITE」

日本政府観光局 MICEプロモーション部 部長 川崎 悦子氏

—— JNTOにおけるインセンティブ  
トラベルへの取組についてお聞かせく  
ださい。

川崎 昨年7月、MICE国際競争力強化  
委員会による「MICE国際競争力強化  
委員会提言」を発表され、政府が掲げる  
観光ビジョンにある2020年訪日外国人  
旅行者数4,000万人、消費額8兆円とは  
別に、2030年MICE関連訪日外国人消  
費額8,000億円 というMICE全体目標が  
明示されました。この高い目標を達成す  
るためには、デシジョンメイキングまで  
が短期間でかつ経済効果が高い「ミー  
ティング・インセンティブ」分野の強化  
も重要と考えており、JNTOとしては多  
様な取り組みを開始しています。

まずは日本を選択いただくことが第  
一步で、そのためには、日本でどのよう  
なイベントが開催いただけるのかをご理  
解いただくことが重要です。そこで受  
入環境整備が進む日本の都市魅力の認  
知度向上に向けたMICEブランドを活  
用したグローバルキャンペーンを実施し  
ています。その一環として昨年10月に  
Facebookも立ち上げるなど、MICE開  
催地としての日本の強みや価値をご理  
解いただくための幅広い活動を展開し  
ています。

次に、国際会議の誘致活動における  
国内主催者への支援です。アンバサダ  
ープログラムもその一つで、物理的な負  
担軽減に取り組んでいます。

「ミーティング・インセンティブ」につ  
いても、JNTO海外事務所が現地主催  
者や旅行会社等へのコンタクトを行っ  
ており、開催いただく主催者に対する支  
援メニューの充実も進めています。



さらに国内MICE関係者のノウハウ  
継承を実現する人材育成、最後に誘致  
戦略のベースとなるデータ分析が重要  
と考えデジタルマーケティングにも取組  
んでいます。

—— 近年はMICE国際団体との連携  
も活発化していますね。

川崎 国際会議部門ではIAPCO、  
ICCAと連携した教育プログラムを実施  
し、海外事務所だけでなく本部との関係  
強化に取り組んでまいりました。また海  
外事務所を通じPCMA、MPI、ASAE  
等の会員への情報提供や、国際団体が  
持つ教育プログラムを国内関係者向け  
に活用させていただくなどの連携を実  
施してきました。

2018年度は「ミーティング・インセン  
ティブ」分野の強化に取り組む中で、イン  
センティブに特化したSITEのネットワ  
ークを活かした認知度向上と、資格取  
得に向けた教育プログラムを活用し、国  
内関係者に海外からのインセンティブ旅  
行に対する取組みへの理解を深めるた  
めに連携しています。3年前に立ち上げ  
た「ジャパン・ベスト・インセンティブ・  
トラベル・アワード」は、SITEの「クリ  
スタルアワード」を参考にしました。こ  
のほかSITEでは、インセンティブのコ  
ンテンツ開発やプランナーのモチベー  
ションを上げる素晴らしいプログラムを多  
数展開されており、今後、わが国にお  
ける魅力的なプログラム開発に役立  
ていきたいと考えています。

—— バンコクで開催された「2019  
SITE Global Conference」では、どの  
ような活動を展開されたのでしょうか？

川崎 ブランディングキャンペーンの  
一環として、SITEのホームページに記  
事広告を掲出したほか、クリスタルア  
ワードのランチョンをホストさせていただ  
き、プレゼンテーションの機会を頂戴し、  
新しいミーティング・インセンティブ向  
けプロモーションビデオのお披露目をさ

せていただきました。

おかげさまで「今の日本の新しい魅  
力が伝わる」という評価とともに、外国  
人がイメージする「日本の伝統」とのコ  
ントラストへの評価をいただきました。

—— SITEの魅力、他団体との違い  
をどのようにお感じですか？

川崎 MPIのWEC (World Education  
Congress) など、各団体が教育やネッ  
トワーキングのためのイベントを開催さ  
れます。そもそもクライアントを楽しませ  
ながら目標を達成させるプログラム  
提案をされる会員の集まりであるSITE  
は、参加者のネットワーキングに重きが  
置かれ、クライアントへの提案を疑似  
体験させるようなイベント構築が特徴  
に思います。セミナーもマーケティング  
などのテーマばかりでなく、いかに発想  
力を鍛えるかなどの啓発プログラムも  
多いようでした。参加者も200人程度と、  
3～4日の会期中に、ほとんどのメンバ  
ーとお話ができるサイズ感。パーソナ  
ルでの関係を構築してから、ビジネス  
へのアプローチという互いを知って信  
頼関係に立脚する関係づくりを重視し  
ていると感じました。FAMトリップで  
は移動手段も船、トゥクトゥク、観光ポ  
リス誘導によるVIP体験など、WOW  
ファクターを用いたプログラム構成で、  
まさに「次はバンコクで開催したい」と  
思わせる微笑みの国・タイでの癒し旅だ  
ったそうです。

—— SITE Japan設立に向けての期  
待をお聞かせください。

川崎 日本ではCMPの資格取得などに  
向けた教育プログラム等に注力されて  
いるMPI Japanがしっかりとした基盤  
を形成されており、個人会員でかつ業  
界の横のつながりへのニーズはあると実  
感しています。SITEはcisの資格制度  
とともに、眠っている素材を発掘し、コ  
ミュニティをつなげて殻を破り価値ある  
プログラムを創る「ものづくり」への発  
想力を鍛え、感覚を磨くことができる組  
織とお見受けしました。こうした国際団  
体の活動や理念を理解し、より多くの国  
内関係者がグローバルな関係づくりを実  
現されることに期待しています。